

音楽科学習指導案

広島県立広島中学校

教諭 柿内 香予

- 1 教科のテーマ 「思考力・表現力を高め、豊かな情操を養うための言語活動の充実」
- 2 日時 平成30年10月24日(水) 6校時(14:25~15:25)
- 3 対象 中学校第1学年2組 (男子14名 女子26名 合計40名)
- 4 場所 音楽教室
- 5 題材名 鑑賞:「物語と音楽」(教材:「魔王」シューベルト作曲)
- 6 題材について

題材観	<p>本題材は、中学校学習指導要領音楽(平成29年)の第1学年「B鑑賞」ア(ア)、イ(ア)を組み合わせた題材であり、「曲想と音楽の構造との関わりを理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと」について扱うものとする。</p> <p>「魔王」は1815年、シューベルトが18歳の時に作曲したリートである。初期ロマン派の作曲家であるシューベルトは、自由な転調と絡み合う4人の登場人物の旋律によってストーリーを展開させ、ゲーテの詩の世界を印象的に表現した。本楽曲は、登場人物の旋律をたどっていくことを通して、曲想の変化と音楽を形づくっている要素との関わりを捉えやすく、第1学年時の鑑賞の学習に適していると考えられる。また、1人の歌手が4人の登場人物を歌い分けるといった点においても、人物ごとの曲想の違いに視点を向けやすく、音楽を形づくっている要素の変化に着目しやすい。本題材の学習を通して、音色、リズム、速度、旋律、強弱の変化を知覚し、それらの働きと登場人物の心情の変化やイメージとの関わりを感じ取って聴くことにより、「魔王」の魅力について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことをねらいとする。</p>
生徒観	<p>本校の生徒は県内各地から集まってきており、小学校段階での音楽科における学習内容や音楽活動経験も多岐にわたる。鑑賞においては、1学期にヴィヴァルディ作曲「春」の学習の中で、ソネットに表された情景を音楽でどのように表現しているかを考えたり、ソネットを見ながら「夏」「秋」「冬」の一部を聴いて、音楽を根拠にどの季節を表現しているのかを考えたりする活動に取り組んだ。</p> <p>本学級の生徒を対象として行ったアンケートでは、「音楽を聴くことは好きですか」という項目に対し、82.5%の生徒は「とてもそう思う」と答え、92.5%の生徒が肯定的回答をしている。一方、「クラシック曲を聴くことは好きですか」という項目に対しては、「とてもそう思う」と回答した生徒は35%と少なく、「あまりそう思わない」と回答した生徒は22.5%であった。この回答から、ポップスなど自分の好みの音楽を聴くのは好きだが、クラシック音楽には馴染みが薄く、興味をもって鑑賞している生徒は少ないと考えられる。また、「曲を聴くときに、音楽を形づくっている要素にどんな特徴があるのかを考えながら鑑賞していますか」という項目に対しては、肯定的回答をしている生徒は87.5%であったが、「とてもそう思う」と答えた生徒は30%と少なく、「少しそう思う」が57.5%と多い結果となった。理由として、音楽を形づくっている要素についての概念が曖昧であったり、音楽の構造と曲想とを関わらせて聴くということに十分慣れていなかったりすることが考えられる。</p>
指導観	<p>指導に当たっては、まず、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とを関わらせて聴くことの楽しさを感じられる指導方法を工夫したい。歌詞による状況理解ではなく、音楽から登場人物の心情をイメージして聴くことができるようドイツ語版で鑑賞し音楽の特徴に着目させていきたい。</p> <p>第2次前半では、ストーリーの主要な登場人物である子と魔王の旋律にスポットをあて、クイズ形式で興味をもたせながらストーリーの概要を理解させていく。その過程で音楽の構造から登場人物の心情をイメージしていけば、歌詞は分からなくてもストーリーの概要をつかめるということを感じさせ、音楽の構造と曲想とを関わらせて聴くことへの意識を高めたい。第2次後半では、シューベルト版とレーヴェ版の「魔王」を聴き比べ、共通点と相違点についてまとめさせていく。同じゲーテの歌詞であっても、音楽を形づくっている要素の特徴が違えば曲想も変化し、曲から受ける印象も変わるということを感じ取らせたい。様々な切り口で鑑賞をしたまとめとして、「なぜ、『魔王』は多くの聴き手を惹きつけるのか」という課題についての意見をまとめさせる。学習内容を振り返りながら楽曲のよさについて自分なりの考えをもたせるとともに、今後の鑑賞活動に対する意欲を高めたい。</p>

7 題材の目標

「魔王」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴き、楽曲に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わう。

8 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
①「魔王」の音楽を形づくっている音色、リズム、速度、旋律、強弱と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	①「魔王」の音楽を形づくっている音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ②知覚・感受しながら、「魔王」の音楽の構造と曲想との関わりを理解し、曲に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

9 指導と評価の計画（全4時間）

次	学習活動・学習内容	評価規準・評価方法	
		音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
第1次	<p>課題の設定（1時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「魔王」を、タイトルを提示せずに聴き、音楽の雰囲気をおおまかに感じ取る。 ・曲の雰囲気について交流する。 ・タイトルを知って鑑賞する。 ○シューベルトやゲーテについて知る。 <p>「なぜ、『魔王』は多くの聴き手を惹きつけるのか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材の学習過程について知り、見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「魔王」の音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 <p>（行動観察） （ワークシート）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「魔王」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 <p>（ワークシート）</p>

<p>第 2 次</p>	<p>情報の収集・整理分析（2時間）</p> <p>情報の収集①</p> <p>【音楽の特徴から「魔王」のストーリーをイメージして聴こう】</p> <p>○「魔王」の登場人物の旋律を聴き、音楽の特徴から登場人物の心情をイメージし、ストーリーを大まかにつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子の旋律を聴き、演奏される順番を考える。 ・子の前に話している人物は誰なのか考える。 ・語り手の旋律を聴き、ストーリーの結末について考える。 <p>整理分析①</p> <p>○本時に考えたことを基に、聴き手を惹きつける「魔王」の特徴についてまとめる。</p>	<p>○「魔王」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>（行動観察）</p> <p>（ワークシート）</p>	<p>◎「魔王」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、「魔王」の音楽の構造と曲想との関わりを理解し、曲に対する評価とその根拠について自分なりに考えている。</p> <p>（行動観察）</p> <p>（ワークシート）</p>
<p>第 2 次</p>	<p>情報の収集②</p> <p>【二つの「魔王」～音楽によってストーリーの印象はどう変化するか聴き比べよう～】</p> <p>○同じ詩に曲をつけて作曲してあるレーヴェ版とシューベルト版の「魔王」を比較聴取し、音楽によって印象がどのように変わるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で2曲の違いについて交流し、共通点や相違点についてまとめる。 <p>整理分析②</p> <p>○音楽によってストーリーの印象はどう変化するかを、2曲の共通点や相違点を踏まえて自分の言葉でまとめる。</p>	<p>○「魔王」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>（行動観察）</p> <p>（ワークシート）</p>	<p>◎「魔王」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、「魔王」の音楽の構造と曲想との関わりを理解し、曲に対する評価とその根拠について自分なりに考えている。</p> <p>（行動観察）</p> <p>（ワークシート）</p>
<p>第 3 次</p>	<p>まとめ・創造・表現（1時間）</p> <p>「なぜ『魔王』は多くの聴き手を惹きつけるのか」</p> <p>○批評文のポイントを確認する。</p> <p>○これまで学習したことを踏まえて、「なぜ、『魔王』は多くの聴き手を惹きつけるのか」という課題に対する自分の考えを批評文にまとめ、交流する。</p> <p>○「魔王」を鑑賞する。</p> <p>○学習の振り返りを行う。</p>	<p>◎「魔王」の音楽を形づくっている要素と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>（行動観察）</p> <p>（ワークシート）</p>	<p>◎知覚・感受しながら、「魔王」の音楽の構造と曲想との関わりを理解し、曲に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>（ワークシート）</p>

10 本時の展開

(1) 本時の目標

登場人物のセリフにあたる音楽の、音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「魔王」のよさを味わって聴くことができる。

(2) 本時の評価規準

- 「魔王」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る学習に主体的に取り組もうとしている。【関心・意欲・態度】
- ◎「魔王」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、「魔王」の音楽の構造と曲想との関わりを理解し、曲に対する評価とその根拠について自分なりに考えている。【鑑賞の能力】

(3) 本時の学習展開

	学習活動	○指導上の留意事項 ◆支援を必要とする生徒への手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法)
導入	1 前時の学習活動を想起する。	○題材を通じた課題「なぜ、『魔王』は多くの聴き手を惹きつけるのか」を探るために、本時の課題に取り組むことを確認する。	
	音楽の特徴から「魔王」のストーリーをイメージして聴こう。		
展開	2 全曲を通して聴く。 ・主な登場人物である子のセリフだと感じるところで手を挙げる。	○登場人物ごとの旋律に着目した聴き取りができるように視点を与える。 ◆指導者もカードをあげ一緒に確認する。	○子のセリフの音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る学習に主体的に取り組もうとしている。 〔関心・意欲・態度〕 (行動観察)
	3 順序を変えた子のセリフの旋律を聴き、それぞれの旋律の特徴について考える。	◆グループで考えさせ、音楽を聴く視点や楽譜の見方などを共有させる。	
	4 演奏される順番に並び替える。	○ここでは順番を正解することより、音楽を根拠として旋律の展開について考えることを大切に する。 ◆他者との意見交流を通して根拠をもてるように する。	
	5 演奏される通りの順番で子の旋律を聴き、音楽の特徴を確認し、そこから想像される心情について考える。 〔知覚〕 ・音がだんだん強くなる。 ・音がだんだん高くなる。	○実際の順番で音の高さの変化や強さが次第に変化していることを確認し、これらの特徴と子の心情の変化とを関わらせてイメージさせる。 ◆知覚したことと感受したことを分けて板書し、思考が整理しやすくなるようにする。	

	<p>[感受]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子の恐怖が増している。 ・必死に助けを求めている。 <p>6 子の前のセリフは魔王なのか、父なのか考える。</p> <p>[魔王]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しい音色で子を誘っている。 ・最後だけ急に暗くなるから、魔王が本性を現した。 <p>[父]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るい音色だから父が子をなだめている。 ・音の強さが弱めだから、魔王の存在に気付いてない。 <p>7 物語の結末をイメージするために、語り手の旋律を聴いて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「終わり」をイメージさせるリズムなので、暗い結末。 ・短調なので子が死んでしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○イメージした子の心情をより確かなものにするために、子の前に話しているのが魔王なのか、父なのかを考えさせる。 ○魔王と父で意見が割れた時には、最後のセリフの音楽の急激な変化に着目させる。 ○語り手の旋律や伴奏の効果に着目させることで、物語の結末をイメージさせる。 ○ワークシートには記入せず、全体で曲を聴いて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物ごとの音楽の構造と曲想との関わりを理解して聴いている。 [鑑賞の能力] (ワークシート) (行動観察)
<p>ま と め</p>	<p>8 全曲を通して聴く。</p> <p>9 本時の学習で感じた「魔王」の魅力や面白さについてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ストーリーの流れを意識して全体を聴く。 ○音楽に合わせて、日本語のあらすじを提示し、ストーリーを理解させる。 ○音楽から知覚したことと感受したことを関わらせながらまとめを書かせる。 <div data-bbox="611 1489 1484 1729" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【まとめの例】(_____ は音楽から知覚したこと, _____ は感受したこと)</p> <p>「魔王」を聴いてこの曲の面白さだと感じたのは、魔王と子の旋律の対比です。<u>優しい音色と弾むリズムで子を誘惑するように演奏される魔王のセリフに対して、子の旋律は次第に音が高くなり、激しい感じで強く演奏されることで緊迫感が増えています。</u>この2人の登場人物の対比が、聴き手に「続きはどうなるのか」という興味や期待感をもたせることにつながっているのだと感じました。</p> </div> <div data-bbox="611 1794 1484 2078" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【まとめの例】(_____ は音楽から知覚したこと, _____ は感受したこと)</p> <p>「魔王」の魅力だと感じたことは、スリルのあるストーリーと、それを音楽で表すための工夫がされているところだと思います。登場する4人の人物それぞれの旋律に違った特徴があり、音楽からストーリーを感じ取ることができます。語り手の最後の旋律では<u>緊迫感を駆り立てていたピアノの連符が最後に急に止み、間を取りながら重々しく演奏されることで、不幸な結末を表現しています。</u>このように聴き手を惹きつけるシューベルトの工夫が登場人物の旋律にちりばめられていることが魅力だと思いました。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○「魔王」の音楽の構造と曲想との関わりを理解し、曲に対する評価とその根拠について自分なりに考えている。 [鑑賞の能力] (ワークシート)

(4) 板書計画

題材の課題	「なぜ、『魔王』は多くの聴き手を惹きつけるのか」		
本時の目標	音楽の特徴から「魔王」のストーリーをイメージして聴こう。		
子	○→○→○→○		
旋律の特徴			
Aは音が強い→訴えている？ Bは一番音が強くて、音が高い Cだけ音が弱い 音色が不安げ ABDは出だしが似ている	根拠 ・「お父さん」の音が次第に高くなる。 ・旋律の強さが次第に強くなっている。 ・音色がだんだん硬く重々しくなっている。	心情 ・恐怖感が増している。 ・必死に父に助けを求めている。 ・不幸な結末を暗示している。	
子の前に話しているのは？	物語の結末は？		
父	魔王		
根拠 ・明るく優しい声 → なだめている ・弾む感じ → 魔王に気付いていない	根拠 ・明るい → 子をなだめる ・最後に転調 → 本性を出す	根拠 ・ピアノの音「終わる」感じの → 子 息絶えるリズム ・息が混じった重い音色 → 子が魔王につかまる	心情